

ごせん 農業委員会だより

第64号

—発行—
五泉市農業委員会
新潟県五泉市太田1094-1
TEL (43)3911
—発行人—
会長 松尾 タカ子

農地パトロールを終えて

夏の農地パトロール強化月間(7～8月)の報告

農地利用状況調査を実施しました

農業公害遊休農地対策委員会

委員長 長谷川 亘



農業委員会では、8月6日に各地域の農業委員、農地利用最適化推進委員に事務局職員が同行し、市内全域の農地パトロールを行いました。

当日は雨が降る中でしたが、順調に調査をすすめることができました。遊休農地の実態把握や違反転用の有無などについて、タブレット端末を活用した現地調査を行い、状況を確認したところでした。

今回の調査結果に基づき、適正な管理がされていない農地については利用意向調査を行うなど、優良農地の保全と利用促進を図ってまいります。

五泉地区担当



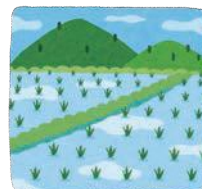
村松地区担当



農地の相談会を開催しました

農業委員会では、農地を正しく守り活かす取り組みの一環として「農地の相談会」を五泉地区では福祉会館にて7月22日、23日、27日の3日間、村松地区ではさくらんど会館にて7月29日、30日、8月3日の3日間、開催しました。この相談会では、農地の売買や貸し借りについての制度説明を行い、全6回の相談会を通して、合計で21件の相談がありました。

地域で相談会のご希望がありましたら、農業委員会が向きますので、ご相談ください。



2025年女性農業者の集い

ごせんに新しい風を。
大好き五泉。大好き農業。

五泉市女性農業者の集い実行委員会

委員長 酒井 美奈子



20回目を迎えました「女性農業者の集い」を8月22日に開催いたしました。今年の夏は暑く農作業を行うには過酷な日が続いています。また、空梅雨が続き雨が降らず水不足で農作物の栽培にも影響が出ました。

第1部では、新潟普及指導センター指導員の方から、来年に向けて野菜の暑さ対策と病害虫防除について高温対策と防除のポイントやタイミン

グ等、教えていただきました。第2部では、不死鳥道場の塚野真一様から「輝く元気を手に入れるために」と題し、足・背中・胸のストレッチの

やり方を冗談を交えながらご指導いただきました。会場は笑顔と笑い声があふれました。教えてもらったストレッチを行い、怪我をしないように元気に頑張りました。今年の集いに参加された皆様、ご協力いただいた関係機関の方々、本当にありがとうございました。来年もまたお会いしましょう。

会場に女性農業者の皆さんが生産した野菜を展示しました!



当日の様子

右: 野菜の暑さ対策について学ぶ様子

左: ストレッチに挑戦する様子



令和7年度新潟県優良農業経営体等表彰式

8月1日ANAクラウンプラザホテル新潟にて、令和7年度新潟県担い手経営発展推進大会が開催され、当市の有限会社ファームみなみの郷が県内優良農業経営体として働き方改革の部で県知事賞を受賞しました。おめでとうございます。



市の農業施策に 関する意見・回答

農業委員会法により、本年度も市長へ意見書を提出し、回答を受けました。その要旨をお知らせします。



写真中央の田邊市長へ令和7年8月8日意見書提出

意見① 遊休農地活用について、農福連携による農業従事者の確保等、関係機関が協力して、それぞれの分野で取り組みが行われるような体制づくりをお願いしたい。

回答 農福連携の事例として、苗箱洗いや栗拾い等があるが、今後ボランティア等の活用と併せて農福連携の活用事例なども調査していく。

意見② 農地の集積・集約化を図る上でも、農業機械の購入や施設の修繕など経営支援に繋がる制度の新設や拡充をお願いしたい。具体的には次のとおり。

- ① 認定農業者の補助額上限を200万円としてほしい。
- ② 担い手以外の農家も制度が受けられるよう、補助制度の柔軟な運用をお願いしたい。
- ③ 年に複数回申請が行える等、補助の機会を拡充してほしい。
- ④ 農地管理に必要な草刈り作業について、補助制度を設けてほしい。
- ⑤ 高温・渇水時の対策は、関係機関と連携を強化し、多角的な支援体制を確立してほしい。

回答 令和7年度は新たにスマート農業機械に対し、補助上限150万円(補助率30%)を設けている。今年度の高温・渇水対策としては、ポンプの購入等の事業費の2分の1を助成する

「かん水用機械等整備対策事業」を実施している。多くの農家の営農継続を支援し、公平に制度を利用してもらうため、上限額や回数の拡充には慎重に検討を行い、今後も農業情勢の実情に沿った支援ができるよう調査・研究を進めていく。

渇水については、国と県に対して、ため池の設置等に関する支援や新たな農業用水の確保、早出川ダムの利水容量等の見直しといった現実的な対応を要望した。今後も国や県に働きかけ、将来的な農業の発展に努めていく。

意見③ 新規就農者が安心して支援を受けられるよう、市が主導となった支援体制の構築をお願いしたい。

回答 現在、新規就農者には農林水産省の「新規就農者育成総合対策」の事業または市独自支援事業の「ニューファーマーズ応援事業」を活用していただいている。今後も関係機関と連携して支援を実施していく。

意見④ 電気柵等導入支援の拡

充やイノシシにより破壊された畔の復旧費用に対する補助事業等の被害対策事業の拡充等をお願いしたい。

回答 電気柵等の導入支援は、令和7年度より非農家の菜園も対象としている。また畔の復旧費用に対する補助事業については、県内における事例がないため、今後も情報収集に努めていく。

現在、市では藪払いや放任果樹の伐採等を実施する町内会や農家組合を対象として、上限10万円の補助を実施している。有害鳥獣が里へ近づきすぎないよう追い払いをする体制づくりを進めていきたい。

意見⑤ 畦畔焼きを「やむを得ない焼却」として行うための条件等を教えてほしい。

回答 屋外での焼却行為は原則禁止されており、焼却行為自体を市が許可するものではない。県においては、害虫やネズミ駆除については薬剤散布による駆除をお願いしており、当市も同様をお願いしている。

特集 メルカートごせんに聞きたい5つのこと



五泉市の魅力をギュッとつめこんだ直売所「メルカートごせん」。農家のみなさんが持ち寄った新鮮とれたて農産物や地元の特産品をいろいろ取り揃えています。

Q1

メルカートごせんについて教えてください



ラポルテ五泉の中にある直売所メルカートごせん。日頃から利用している農家のみなさんも多いのではないのでしょうか。今回は、メルカートごせんの店長である川俣さんに、インタビューしました。

Q2

農家さんと関わる時に大切にしていること

農家のみなさんは「作るプロ」、私たちは「売るプロ」として、力を合わせて地域の魅力を広めていけたら素敵なおこと。メルカートごせんは、農業と地域をつなぐ「懸け橋」として、これからも信頼される場となるよう、日々の取り組みを大切にしています。



Q3

農家さんと接して普段思っていること・感じていること

農家のみなさんの見えない努力が、美味しい野菜を育てています。その背景を伝えることが、食べる喜びをより深いものにし、地域の農業を応援する力にもつながると感じています。

Q4

お店いちおしの農産物や隠れた名品を教えてください

五泉の「さといも」がおすすめです。出荷者さんのさといもを使った「ごせんコロツケ」は、給食でも人気で、当店一番の売れ筋商品となっています。地域の美味しさを、多くの方に届けられますことをうれしく思います。



Q5

農家のみなさんに向けてひとこと！

おかげさまで、ラポルテ五泉は10月2日で4周年を迎えます。ここまでも続けてこられたのは、いつも農産物を届けてくだ

さる農家のみなさんのおかげです。みなさんの毎日の努力が、私たちの食卓においしさと笑顔をもたらしてくれます。その思いを、私たちは心を込めて消費者へつないでいきます。これから一緒に、五泉の魅力を伝えていきたいと思います。



編集後記

秋といえば「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」ですが、近年の猛暑、酷暑により、「秋がない」といわれています。今年も6月から8月にかけて雨が降らない日が続く、用水不足となり干ばつが発生した圃場もありました。暑い中での稲刈り作業は大変だったと思いますが、健康に注意して来年も米作りに頑張ります。

編集委員 権平 孝男